

でき形検査基準(森林土木工事)

工種	検査内容	検査密度	検査方法
土工一般	基準高、法長、法勾配、幅、延長	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	実測
	残土処理量及び場所、土採取場所	適宜	実測又は写真等
鉄筋組立	かぶり、平均ピッチ (主要構造物の主鉄筋を対象)	1ロット当たり1箇所以上	〃
コンクリート土留工(よう壁工)	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	実測(不明視部分は写真等)
石・ブロック積(張)工	基準高、厚さ、法長、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
補強土壁工	基準高、高さ、鉛直度、控え長、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
管(函)渠工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	同種構造物ごとに2箇所以上	〃
水路工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
根固工、消波工 (ブロック)	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
その他の構造物	基準高、幅、厚さ、高さ、法長、延長	同種構造物ごとに図面の寸法表示箇所 の任意部分	〃
治山ダム工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	図面の寸法表示箇所の任意部分	〃
流路工、護岸工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
植生工	法長、厚さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
吹付工(モルタル・コンクリート)	法長、厚さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
法枠工	法長、延長、幅、高さ、中心間隔	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	実測
基礎工(既製杭、場所打杭)	本数、基準高、根入長、偏心量、杭径	1基又は1目地間隔当たり1箇所以上	実測(不明視部分は写真等)

でき形検査基準(森林土木工事)

6/7

工種	検査内容	検査密度	検査方法
矢板工	基準高、根入長、変位、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	実測（不明視部分 は写真等）
集水井工	基準高、深さ、偏心量	1基当たり1箇所以上	〃
抑止杭工	本数、基準高、根入長、偏心量	同種構造物ごとに図面の寸法表 示箇所の任意部分	〃
アンカー工	本数、削孔深さ、せん孔方向	同種構造物ごとに図面の寸法表 示箇所の任意部分	〃
橋梁下部	基準高、幅、厚さ、高さ、スパン 長、変位	スパン長はスパンごと、その他 は構造物1基ごとに図面の寸法 表示箇所の任意部分について1 箇所以上	〃
鋼橋上部	部材寸法	主要部材について、寸法表示箇 所の任意部分について1箇所以 上	〃
	基準高、支間長、中心距離、 キャンバー	1橋につき3箇所以上	〃
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分 について1箇所以上	〃
	溶接及び架設による歪み	各スパンごと	観察
	塗装被膜厚	主要部材の任意部分について1 箇所以上	実測又は資料
コンクリート橋上部	部材寸法	主要部材について、寸法表示箇 所の任意部分について1箇所以 上	実測（不明視部分 は写真等）
	基準高、幅、厚さ、高さ、キャンバー	1橋につき3箇所以上	〃
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分 について1箇所以上	〃
路盤工	基準高、幅、厚さ	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは1kmにつき1箇所以 上	実測
舗装工	基準高、厚さ、幅、平坦性	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは3,000㎡につき1箇 所以上（既に採取されたコアに より検査）、ただし、3000㎡以 下は2箇所以上	〃

でき形検査基準(森林土木工事)

工種	検査内容	検査密度	検査方法
特殊路面工 (砂利道路面処理)	基準高、厚さ、幅、	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは1kmにつき1箇所以上	実測
地拵え(全刈・筋刈)	周囲の延長・角度(測線間の水平角)	適宜	実測
	刈幅、置幅	施工面積1haにつき1箇所以上 ただし、1ha以下は2箇所以上	実測
地拵え(耕耘)	周囲の延長・角度(測線間の水平角)	適宜	実測
	耕起深	施工面積1haにつき1箇所以上 ただし、1ha以下は2箇所以上	実測
植栽工	周囲の延長・角度(測線間の水平角)	適宜	実測
	植栽木の生存 (なお、工事目的物の受渡し後、一成 長期を経過した後、枯損等の確認をす ることとする。)	適宜	目視等
	列間、苗間	施工面積1haにつき1箇所以上 ただし、1ha以下は2箇所以上	実測
	土壌改良材、肥料、客土使用量等	適宜	写真等資料
下刈・補植・つる切・ 除伐・雪起し	周囲の延長・角度(測線間の水平角)	適宜	実測
本数調整伐・受光伐	周囲の延長・角度(測線間の水平角)	適宜	実測
	本数	17°ロット10m×10mを標準とする。 施工面積1haにつき1箇所以上 ただし、1ha以下は2箇所以上	実測
防風工	延長、高さ、主杭間隔	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上	実測

注) この検査基準は標準を示すものであり、工事内容等を勘案し検査密度等を変更し実施できるものとする。